

【すべての講演の演者・座長の方へ】

可能な限り現地での発表をお願いしたいと思いますが、所属施設のご都合などにより来場できない場合はリモート発表の対応もいたします。会場発表・リモート発表を問わず、事前に音声付発表データ（mp4, mov, wmv形式）をご登録いただきます。

※皆様の勤務先の出張許可等の状況が急変する可能性があることから、すべての方に事前提出をお願いしております。ご協力の程よろしく願いいたします。

※受付締め切り間際はアクセスが集中し、登録に時間がかかる場合がございます。可能な限りお早めにご登録をお願いします。

■PCセンター

当日に音声なしパワーポイントを使用して現地で発表される場合は、PCセンターにお越しください。

場所：大阪国際会議場 10F ホワイエ

■発表データ形式

現地発表・リモート発表を問わず、事前に音声付発表データ（mp4, mov, wmv形式）をご登録いただきます。

データ提出期間

・指定演題、一般講演：2022年3月10日（木）正午～3月29日（火）正午まで

・学術展示：2022年3月10日（木）正午～3月22日（火）正午まで

すでにメールでご案内しております通り、第126回日本眼科学会総会のホームページにアクセスしてデータをご提出ください。

事前に PowerPoint を利用して、発表音声を収録してください。登録時のデータ形式は、音声付きでご登録ください。詳細は第126回日本眼科学会総会のホームページをご確認ください。

■スライド/ポスター言語、発表言語について

発表形式	スライド/ポスター	発表	質疑応答
・特別講演	日英併記	日/英いずれも可	日/英いずれも可
・招待講演	日/英いずれも可	日/英いずれも可	日/英いずれも可
・評議員会指名講演	日英併記	日/英いずれも可	日/英いずれも可
・シンポジウム	日英併記/英いずれも可	日/英いずれも可	日/英いずれも可
・International Symposium ・The International Crosstalk Symposium by Young Ophthalmologists	英語	英語	英語
・教育セミナー ・サブスペシャリティサンデー ・スキルトランスファー	日英併記/英を推奨し、 日本語でも可	日/英いずれも可	日/英いずれも可
・一般講演 ・学術展示	日英併記/英いずれも可	日/英いずれも可	日/英いずれも可

■利益相反 (conflict of interest) について

共催セミナーを含むすべての発表に関し、講演時の2枚目のスライドまたはポスター末尾において利益相反を公表してください。演者全員が利益相反公表基準に該当しない場合は、「利益相反公表基準に該当なし」と記載してください。該当ありの場合には、各演者名に続きカテゴリーと企業名〔ただし、カテゴリーP（特許権を有する、または申請中の場合）では企業名の記載は必要ありません〕を明示してください。

記載例：日眼太郎：【F】○○製薬、【I】▲▲工業

日眼花子：【P】

なお、平成27年10月21日に「日本眼科学会利益相反に関する基準」が改正され、当該の発表内容に関するか否かにかかわらず、過去3年間の利益相反を公表の対象とすることとなりました。

利益相反に関する詳細については、日本眼科学会ホームページ内の倫理委員会のページ「日本眼科学会利益相反に関する基準 (<https://www.nichigan.or.jp/Portals/0/resources/about/conflict.pdf>)」にてご確認ください。

■スライド作成における注意事項

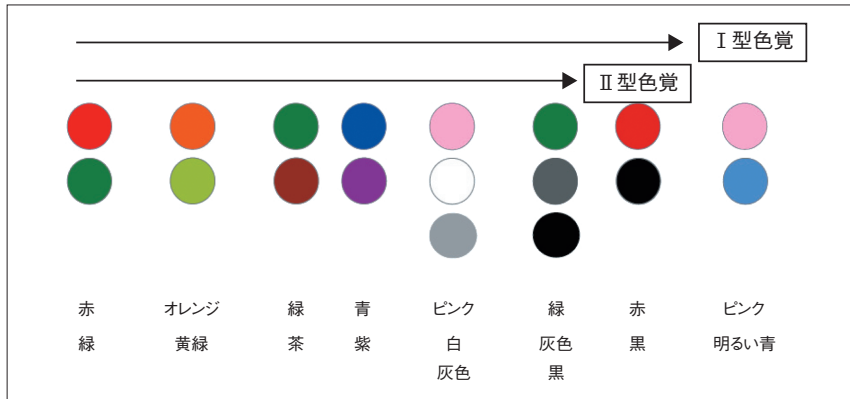
スライドは参加者が容易に理解できるよう眼科学の知識に基づいて作成してください。

1. スライド2枚目に利益相反事項を用意してください。
2. 字詰まりスライドを避ける：字詰まりスライドは、低視力者はもちろん、正常視力者にとっても判読が大

変困難です。(Angular Vision と Cortical Vision との関係への配慮)。

3. スライド提示時間への配慮：
スライドに掲載されている内容を把握するのに、十分な提示時間を確保できるスライド枚数としてください。
4. 使用する色の数ならびに混合色への配慮：
 - 1) 一枚のスライドに多数の色を使用することは避けてください。背景色と文字とのコントラストが十分にあるもの（ブルーまたは黒の背景に白色または黄色文字など）にしてください。
 - 2) 以下の配色は混同色として識別が難しいので同一スライド内で使用しないようにしてください。

※混同しやすい配色



■注意事項（欠席等について）

1. 一般講演、学術展示発表において、事前連絡がなく、データ登録がされなかった場合、指定された時間に出席、発表されなかった場合、ペナルティとして次回総集会で筆頭演者として発表を認めない方針である旨が日本眼科学会総集会プログラム委員会で決定されております。くれぐれもご注意ください。
2. やむを得ない事情で欠席される場合は、総会開催までに文書またはメールにて欠席理由書を運営事務局にご提出いただく必要がございます。
3. 学会会期中に緊急の要件（交通事情、体調不良など）があった場合は、早急に運営本部（大阪国際会議場 5F「502」 TEL：090-5257-6566（会期中4日間のみ通じます））にご連絡ください。

【日本眼科学会学術奨励賞記念講演の演者・座長の方へ】

デジタルプレゼンテーションのみの発表とします。「The International Crosstalk Symposium by Young Ophthalmologists」において英語にて6分講演、2分質疑の合計8分発表していただきます。

【第75回日本臨床眼科学会学術展示優秀賞受賞講演の演者・座長の方へ】

デジタルプレゼンテーションのみの発表にて5分間講演していただきます。討論はありません。

【一般講演の演者・座長の方へ】

■一般講演演者：講演と討論について

※現地発表：

1. 発表は、事前に提出いただいたデータを用いて、通常通りの口頭発表を行います。（音声とスライド自動進行は事務局にて解除いたします）
2. 演者はセッション開始15分前までに会場内左側最前列の次演者席にお着きください。
3. 座長の指示のもと、演台上のワイヤレスマウスを各自操作して発表してください（PC本体は演台の上にはございません）。
4. 講演時間は8分、討論時間は4分の合計12分です。短時間に多くの演題発表がありますので、時間厳守をお願いいたします。
5. 新型コロナウイルス感染症対策として、アルコール消毒液をご用意しております。ご登壇時とご降壇時の手の消毒にご協力をお願いします。
6. オンデマンドサイトにおいて、質問投稿機能を設けますので、参加者から、コメントや質問などがあった場合、セッションを盛り上げるためにも、ぜひご返信をお願いします。

※リモート発表：

セッション開始時間前にZOOMに入室いただき事前確認の上、本番となります。ご発表時にスライド開始の合図をさせていただきます。会場のスタッフが音声付き発表データの再生を行い、再生終了後、座長の進行の下で行われる質疑応答にZOOMから参加していただきます。詳細は運営事務局からのメールをご確認ください。

■一般講演座長：講演と討論について

※現地参加：

1. 座長はセッション開始 20 分前までに会場内右側最前列の次座長席にお着きください。
2. 座長は開始の合図に合わせて登壇し、セッションを開始してください。
3. 講演時間は 8 分、討論時間は 4 分の合計 12 分です。短時間に多くの演題発表がありますので、スムーズな進行をお願いいたします。
4. 日本眼科学会雑誌では、「日眼総会原著特集号」を発行することになりました。座長に担当セッションの中から日本眼科学会雑誌に相応しい演題を推薦していただき、その筆頭演者に日眼総会原著特集号への投稿を案内します。会期終了後にメールにて演題推薦を依頼させていただきますので、その際にご協力をよろしくをお願いいたします。
5. 新型コロナウイルス感染症対策として、アルコール消毒液をご用意しております。ご登壇時とご降壇時の手の消毒にご協力をお願いします。

※リモート参加：

セッション開始時間前に ZOOM に入室いただき事前確認の上、本番となります。開始の合図に合わせてセッションを開始してください。ZOOM 上よりセッションを進行していただきます。詳細は運営事務局からのメールまたは第 126 回日本眼科学会総会ホームページをご確認ください。

【学術展示の演者の方へ】

新型コロナウイルス感染症防止のため、会場内での学術展示の掲示および発表を取りやめ、本学会総会ホームページにて音声付きの動画を掲載する「Web 発表形式」とさせていただきます。また、オンデマンドサイトにおいて、質問投稿機能を設けますので、参加者から、コメントや質問などがあった場合、セッションを盛り上げるためにも、ぜひご返信をお願いします。

■閲覧期間

- ・ 4 月 14 日（木）～4 月 17 日（日）
- ・ 4 月 28 日（木）～5 月 27 日（金）（予定）